

中学校における国際理解教育の実践発表



～アフリカ体験・わたしのたからもの～

岡山市立操山中学校 社会科 金田 和子

実践教科 社会・選択社会・総合・道徳・ボランティア活動

対象学年 3年、1年、一部全校生徒

対象人数 全校約650人、一クラス34人



わらい

「ガーナがとても好きになった。アフリカがとても好きになった。もっとアフリカについて知りたくなった。そして、この地球の上で、みんなが仲良く、みんなが豊かに幸せにくらしていけるように祈るようになった。自分にできることをしよう。」この気持ちを生徒の心に届けたいと思う。

実践

1. JICA「世界の笑顔のために」プログラムに参加しよう。(ボランティア委員会)



2. アフリカってどんなところ?(3年社会選択)

アフリカについて知ってることをグループごとに自由に画用紙に書きました。う〜ん、やはり暗いイメージの方が多いみたい。

3. ガーナの子ども的一天を想像してみよう。(3年社会選択)

やっぱり水くみしたいしているのかな〜。朝、顔洗っているのかな〜。いろんな疑問がわいてきた!

3. ガーナの人々のくらしを調べてみよう。(3年社会選択)



4. ガーナの子ども達におみやげをつくろう。(3年総合)

日本の文化を伝えるため、桃太郎、剣道、着物などの絵をかいた。みんなで鶴をおきました。折っている最中に、アフリカの話が飛び交った。渡したところを写した証拠写真を見て、満足そうだった。

5. JICAエッセイコンテストに応募しよう。(3年社会)

夏休みに、国際協力について調べ、考え、作文にしておいで〜。
学校賞をもらったよ。



6. 「舞台はアフリカ！青春賛歌！」ビデオを見て、国際協力って何か考えてみよう。

青年海外協力隊はみんなすごいなあ！（3年社会）

7. 「風に立つライオン」を読もう（3年社会）。

アフリカの大地で巡回医師として働く主人公。

8. 劇をしよう！アフリカに行ったら、何かがかわる！



2学期の学校祭にむけて、シナリオ、台本をつくっ

た。アフリカは自分たちが思っているより、楽しそうだ。アフリカに対して持っている間違ったイメージをかえよう。（3年E組総合）

ガーナへいってきま～す

9. 演劇を完成させよう。（3年E組総合）



実際にアフリカ人になってみて、アフリカが身近になった～との感想。アフリカで仕入れた、ビーズ、たいこ、衣装など役にたった。上のシーン黒人の少年が地雷を踏んでボランティアの医師に診察してもらってる。父親が、がんばれと叫んでいる。写真を元にガーナのごちそうのフーフーを粘土やロウなどを使って作った。模造紙30枚にアフリカの風景を描いた。バオバブの木、青い空、赤い土・・・この劇をやったうちのクラスの生徒はみんなアフリカ好きです。

10. 地球規模問題群を調べよう。（ボランティア委員会）、ガーナコーナーで、豊かさって何か考えよう。（3年社会選択）

世界にある貧困、環境問題、紛争・・・世界にはみんな考え、解決していかなければならない問題がたくさんある。それを知ること、調べてみんなに知らせることも立派なボランティアである。1年から3年生混合で、グループをつくり、模造紙にテーマ毎にま

とめ、できあがった作品は学校祭で展示。その展示の教室にガーナコーナーもつくり、



研修での写真をテーマごとに展示。ピース、教科書類、なども展示。ガーナから持ち帰った赤土に触ってみる生徒が多かった。



11. ガーナDEクイズをしよう。(1年、3年社会)

ガーナで見てきたこと、聞いてきたことから簡単なYES、NOクイズをした。生徒はアフリカについて、本当に知らないんだ。アフリカの地図、歯ブラシ? (木ぎれ) などを興味深く見ていた。チョコレートのおみやげを喜び、包み紙をいまだに持っている子もいる。

12. ガーナをみよう! (1年、3年社会)

研修中に写したビデオをみせた。小学校での交流会の迫力あるたいこの演奏と踊りには大感激の声。ビデオに出てくる金田を見て、爆笑。「金田の出身はガーナにちがいない」との感想。とにかく、ビデオは生徒がとても興味深く、喜んでみてくれた。

13. ガーナの文化を紹介! (3年選択社会)

ガーナの言葉で自己紹介、トーキングドラムが聞き取れるかな、この写真はどこの国? アフリカ? え? アフリカにもこんなところが・・・!びっくり!

14. ガーナの青年海外協力隊のメッセージに耳を向けよう。(3年社会)

ビデオメッセージをみました。たくさん登場し、多くの日本人が遠いアフリカで国際協力に汗を流していることを知った。みんな生き生きしているとの感想があった。

15. ODA、JICA、青年海外協力隊について学ぶ。(3年選択社会)

ガーナでのODA、JICAの活動を紹介。ボリビアの協力隊のパンの話をした。「今、一番大切なものは何?」ボリビアの孤児院の子らの大切なものは「パン」なんよ。

16. 元青年海外協力隊員の話聞こう! (3年総合)



パプアニューギニアに2年いた藤本先生の話を生徒はしっかり聞いていたさすがだ!と思いました

17. 奴隷貿易を考えてみよう。(3年選択社会)

12枚のカード(ケープコースト城の写真、奴隷貿易に関する資料)を並び替えて、黒人がどのように奴隷として売られていったか想像した。貿易船の中で身動きできない状態を少しでも実感するために、床に並んでしばらく横になってみた。「あなたがもし奴隷だったら・・・」「彼の手は語り継ぐ」の絵本を読み聞かせした



18. ユニセフの教材で国際理解しよう。写真合わせ(3年社会)

半分に切り取った写真を見て、見えない部分を想像した。残りの半分をもつ生徒をさがし、実際の写真が想像と違うことに驚き、世界にはいろいろな国があるなあ〜と実感。

19. 「子どもの権利条約」を読み、守られていない権利をさがそう。(3年社会)

私たちの周りで守られていない権利はないだろうか?世界に視野を向けたらどうだろう。守られていない権利がこんなにある。何か私たちにできることはあるだろうか・・・。

20. もうすぐ、お正月!日本の文化を大切に!カルタをつくろう。

地球規模問題群、それを解決しようと頑張っている機関、人々を調べカルタをつくった。



21. 募金をしよう!ユニセフとAMDAに!(ボランティア委員会)

5日間、朝校門で20分間、交代で呼びかけた。事前には、啓



発ビデオ、啓発紙を配布したり、ポスターを貼り、校内に展示。ユニセフからかいた、水瓶に実際水を入れ、持ってみた。おも〜い!!!だれも

が叫んでいた。こんな重いもの持って、何キロも歩く・・・、本当に大変なんだ。え？これが地雷？やバクない？
 どんなところでもこれがあれば大丈夫！ワクチンボックス。などを展示。
 4万5千円集まった。
 世界に役だった。



22. お年玉をもらおう！（3年選択社会）

ガーナの2000セディをお年玉でプレゼント。めずらしい紙幣にしばらく見入っていた。ぜひ、みんなもアフリカにいったほしい。自分の宝物の1つになった、と喜ぶ生徒もいた。

まとめ、思いつきで実践したものばかりで十分とはいえないが、教師自身が現場に行き、感じて帰り、そして伝えることが大事だなあと実感した。こうして、伝えたことはきっと、生徒の心になにか残っていると信じている。今年の夏は、ユニセフのスタディーツアーでモンゴルを訪れた。壮大な大自然とそこに生きる人間のたくましさやさしさに触れ、日本では感じるることのできない豊かさを味わった。モンゴルでの最終日、ウランバートルの町中で、数人の子供たちと仲良くなった。ストリートチルドレンだ。言葉は通じないが、おどけて私を喜ばそうと無邪気なオーバーアクションで笑顔をふるまってくれたこの子供たちがかわいくてたまらなかった。お別れで、バスの中から手を振る私に、さっきとはうってかわってさみしそうに小さく手を振って見送ってくれた。今もその時のことを鮮やかに思い出す。ぜひ、2学期にモンゴルのこと、この子供たちのことを生徒に伝えたいと思う。世界中の人、みんなが幸せになってほしい、そのために、微力ながらも、今後も国際理解教育の実践を続けていきたいと思う。

